



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

5月号

 北区立さくらだこども園
 園長 西澤 尚子

新しいことを楽しめるように

今年は4月から暑い日があり、新緑の中で爽やかに過ごす5月、となるのか子どもたちの体調が心配なところですが、園児の入園・進級から1ヶ月近くが経ち、新しい学級の先生、友達、保育室の環境、生活の仕方にも少しずつ慣れてきた子どもたちです。戸外での遊びや園庭の自然に出会う中で心を弾ませて、園に通う楽しさをたくさん見付けてほしい時期ですので、急な気温の変化で子どもたちの身体への負担が増すことを心配しています。

入園した子どもたちは、「ここに毎日来るんだな」「園に来ると、お母さんやお父さんと一緒にはいられないけれど、時間が来ると迎えに来てくれるんだな」「先生は、いつでも何かあれば助けてくれるんだな」と感じるようになってきたところだと思います。子どもたちにとって、新しいこととの出会いには楽しみだけではなく、心配もあると思います。新しい生活への不安を泣いて表せるのも、表すことで受け止めてもらえると感じているからだだと思います。『新しいこと』は『まだ知らないこと』とも言えます。まだ知らないことにも関心をもち、自分で関わり、楽しむ力は、いくつになっても必要な力だと思います。幼児期にそんな心もちを育てていきたいと考えています。そのためには、新しいことに出会い、不安を乗り越えられた、という体験を重ねることが必要です。保育者は、それぞれの子どもを感じる不安に寄り添い、支え、乗り越える手伝いをします。保護者の方も心配事は園に伝えて頂き、協力して子どもたちを支えていきましょう。

5歳児が3～4名のグループで作ったこいのぼりが園庭に泳いでいます。こいのぼりのからだの色、うろこの形を話し合っ決めて決めました。うろこは型紙を使って形を取り、切り抜いて貼っています。形を取り切るという新しい方法に取り組むこととなりますが、グループで作りにくくときに「難しそうだから私はしない」とは言えません。保育者や友達に支えられながら、自分たちのこいのぼりを作り上げるためにみんなが努力しました。ぜひ、よく見てください。たくさんうろこを貼った、各グループ自慢のこいのぼりです。

今年度は「やさしい子」に重点をおき、人とともに生活することが楽しめ、互いを大事にする関わり方を知ってほしいと考えています。自分も周りの人も楽しい生活を考えていきます。

今月の指導のめあて

- < 3歳児 >
 - ・園生活の仕方を知り、安心して過ごす。
 - ・保育者に親しみをもち、一緒に遊んだり体を動かしたりすることを楽しむ。
 - ・身近な生き物や草花に興味をもち、見たり触れたりする。
- < 4歳児 >
 - ・安心する場や興味をもった遊びに、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・保育者や友達と一緒に遊んだり、学級みんなで過ごしたりする楽しさを感じる。
- < 5歳児 >
 - ・友達と関わる中で、自分の思いを表したり、相手の話を聞いたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・思いきり体を動かす心地よさを感じながら、いろいろな動きを楽しむ。
 - ・野菜や花を植えたり、身近な植物を遊びに取り入れたりして自然に親しむ。

【健康診断について】

4月から6月にかけて、内科、耳鼻科、歯科、眼科の健康診断を行います。心配なことがあり、園医に相談したい場合は、事前に担任にお知らせください。全科受診しないと、プールには入れませんので体調を整え、受けられるようにしましょう。

欠席等の理由により、受診できなかった方は、後日受診していただきます。なお受診後、治療のお知らせを受け取った方は、早めに治療し治癒証明を園に出してください。

【衣替えについて】

6月から衣替えになります。夏服はありませんので、衣替え以降は、園服なし、園帽着用になります。ただ、5月になると、暑い日もありますので、暑い日は、園服を着用しなくても構いません。